令和　　年　　月　　日

国立研究開発法人情報通信研究機構

＊＊＊　お願い　＊＊＊

１．本雛形を利用して基幹課題の提案書を作成してください。記述欄については、提案者が十分に説明するために必要なスペースを使用して記述してください。また、説明に必要な参考資料等を添付していただいても構いません。

２．ご提出前に、本雛形の“吹き出し等(説明書き）”及び文字

や数字を表す○、×、□などは、全て消してください。

３．ページ数の制限は設けません。分かり易い記述として

ください。

理事長　殿

課題番号：○○○○

「○○○○○○○○○○○○○の研究開発」

研究開発項目 X　□□□□□□□□□□□□□□□□□の研究開発」

に対する提案書（本体）

［提案課題］○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

応募する課題番号、課題名、研究開発項目を記載してください。

複数ある場合は全て記載してください。

研究開発項目＊　○○○

研究開発項目＊　○○○

　　　・・・

提案の内容を簡潔に示す名称をつけてください。複数の研究開発項目に提案する場合、提案課題は一つにまとめてください。

なお、この提案課題は、採択決定後に機構と協議の上、修正していただくことがあります。

［代表提案者］

法人番号 ○○○○○○○○○○○○○

郵便番号 ○○○-○○○○

●国税庁に登録している**法人番号、法人名\*1及び法人の代表者＊2（役職名、氏名）**を記入してください。

＊1：登記された公式な法人名称

＊2：企業であれば代表取締役社長等、大学等であれば、理事長、学長／総長　等、各法人が定める法人を代表する方（個人）

（注）特に民間企業においては、企業の代表者（または代表者からその責務を委任された役員）の責務において、社会実装戦略、国際競争戦略、知財戦略、国際標準化戦略を一体的に推進していくことが求められている（政府の「知的財産推進計画2022」）ことにご留意ください。

●本雛形は、ＡA社、ＢB社、ＣC大学が共同で提案し、ＡA社が代表提案者となる例を示しています。実際の構成に合わせて修正してください。

●このように共同提案の場合は、**代表提案者が取りまとめて**応募してください。

●代表提案者と全ての共同提案者を記載してください。後から追加変更はできませんのでご注意ください。

詳しくは応募要領をご覧ください。

所在地 ○○県××市・・・・・・・

法人名　 AA社

代表者　 □□□　××　××

［共同提案者］

法人番号 ○○○○○○○○○○○○○

郵便番号 ○○○-○○○○

所在地 ○○県××市・・・・・・・

法人名　 BB社

代表者　 代表取締役社長　××　××

［共同提案者］

法人番号 ○○○○○○○○○○○○○

郵便番号 ○○○-○○○○

所在地 ○○県××市・・・・・・・

法人名 学校法人CC大学

代表者　 理事長　××　××

提案書（本体）　目次

[１　概要](#_Toc135128958)

[１－１　研究開発課題](#_Toc135128959)

[１－２　要旨](#_Toc135128960)

[１－３　研究開発の概要、目的、背景、必要性、提案の優位性等](#_Toc135128961)

[１－４　研究開発体制及び分担](#_Toc135128962)

[１－４－１　研究開発体制](#_Toc135128963)

[（１）代表研究責任者](#_Toc135128964)

[（２）研究開発体制及び社会実装に向けた体制](#_Toc135128965)

[１－４－２　研究開発項目別分担](#_Toc135128966)

[１－４－３　代表提案者（代表研究責任者が所属する法人）による研究開発課題全体の運営管理](#_Toc135128967)

提案書[別紙１－４に記載](#_Toc135128968)

[１－４－４　研究開発実施に当たっての研究開発運営委員会等の設置](#_Toc135128969)

提案書[別紙１－４（２）に記載](#_Toc135128970)

[１－５　人を対象とする生命科学・医学系研究の取扱い](#_Toc135128971)

[１－６　動物実験の取扱い](#_Toc135128972)

[２　最終目標（アウトプット目標）及び研究開発実施計画](#_Toc135128973)

[２－１　最終目標（アウトプット目標）](#_Toc135128974)

[（１）研究開発課題全体の目標](#_Toc135128975)

[（２）最終目標の設定理由](#_Toc135128976)

[（３）各研究開発項目別の最終目標](#_Toc135128977)

[２－２　最終目標を達成するための研究開発実施計画](#_Toc135128978)

提案書[別紙２－２に記載](#_Toc135128979)

[２－３　年度目標（アウトプット目標）](#_Toc135128980)

提案書[別紙２－４に記載](#_Toc135128981)

[２－４　研究開発実施計画マイルストーン](#_Toc135128982)

[３　当該技術又は関連技術の研究開発実績、保有設備・知的財産等の提案遂行・目標達成能力](#_Toc135128983)

[３－１　研究開発の実績](#_Toc135128984)

[３－２　これまでの成果](#_Toc135128985)

[３－３　提案の実施に資する保有設備・装置等、保有知的財産、提案者の所属組織からのサポート等](#_Toc135128986)

[３－４　当該提案を遂行し、目標を達成する能力](#_Toc135128987)

[４　成果の展開・普及](#_Toc135128988)

[４－１　研究の成果展開](#_Toc135128989)

[（１）成果の展開・普及（社会実装）の計画](#_Toc135128990)

[（２）知的財産活動の計画](#_Toc135128991)

[（３）標準化活動の計画](#_Toc135128992)

[（４）知財・標準化の取組の一体的推進と組織トップ等を含めた内外との強力な連携体制](#_Toc135128993)

[（５）国際競争力強化に資する国際連携活動の計画](#_Toc135128994)

[４－２　成果の発展性・普及性](#_Toc135128995)

提案書[別紙７－２に記載](#_Toc135128996)

[４－３　展開・普及計画（マイルストーン）](#_Toc135128997)

提案書[別紙７－３に記載](#_Toc135128998)

[５　各研究機関の研究員及び連絡先](#_Toc135128999)

[５－１　研究員氏名](#_Toc135129000)

[５－２　代表研究責任者、実施責任者及び連絡担当者　連絡先](#_Toc135129001)

**提案書別紙**

１　研究開発計画

1-4　代表研究者（代表研究責任者が所属する法人）による研究開発課題全体の運営管理

2　研究開発目標

2-2　最終目標への計画

2-4　年度目標（アウトプット目標）

3　データ等の取り扱いに関する計画

3-1　パーソナルデータ（個人情報を含む）が含まれるデータの扱いについて

3-２　データ等の利用及び保管

3-3　データ公開計画

3-４　情報セキュリティ管理の実施体制

4　機構の研究施設、研究設備及び研究機器の利用

6　アウトカム目標

6-1　研究開発課題全体の内容

6-2　実用化等に係るアウトカム目標

6-3　研究開発項目毎の内容及びアウトカム目標

7　成果の展開・普及

7-2　成果の発展性・普及性

7-3　展開・普及計画（マイルストーン）

１　概要

表紙に記載した名称と同一です。

１－１　研究開発課題

研究開発課題名：○○○○○○○○の研究開発

研究開発項目X　□□□□□□□□□□□□□□□□□の研究開発

提案課題：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【電波の有効利用技術の確認】

　　　以下の電波の有効利用技術のうち、本提案に該当するものを■にしてください。（複数可）

□周波数を効率的に利用する技術

□周波数の共同利用を促進する技術

□高い周波数への移行を促進する技術

※電波の有効利用技術については、以下のURLを参照願います。

　<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/fees/purpose/kenkyu/>

１－２　要旨

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

●研究開発の概要を**100文字以上300文字以内**で記載してください。特に、アピールしたい技術、手法、期待される成果等を記載してください（開発の成果がどのように将来的に社会実装され、社会経済の革新をもたらすかの観点についても含むようにしてください）。

●採択された場合、公表文書に使用することがあります。対外的に公表して問題ない内容としてください。

１－３　研究開発の概要、目的、背景、必要性、提案の優位性等

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

1-3は、以下留意の上記載して下さい。

●提案技術に係る研究開発の目的（特に電波の有効利用への寄与について）、社会的現状や産業・社会ニーズ等の背景、目的を達成するために解決すべき課題、課題に対する対応策（＝研究内容）、必要性（国費で実施する必要性及びすぐに着手すべき緊急性も含む）、提案者の技術の位置づけや優位性、社会経済への波及効果等の概要を簡潔に記載してください。

●提案内容に関係する技術の国際競争状況、動向を説明した上で、提案者の技術の位置づけや優位性を客観的に記載してください。

●上記の研究開発の目的、背景、必要性、提案の優位性等を客観的に説明できる根拠について記述し、その根拠となる資料も併せて添付してください。

●研究計画書等にて機構が提示した研究内容の単純転記は不要です。ご提案の独自部分について記載してください。

１－４　研究開発体制及び分担

１－４－１　研究開発体制

（１）代表研究責任者

所属・役職：XXXXXX

1-4-1（2）は、以下留意の上記載して下さい。

●提案する研究開発の実施体制を簡潔に図示（樹形図等）してください。それぞれが体制の中で果たす役割を明確に記入してください。

●１者で研究を実施する場合は、その旨を記入してください。

●本研究開発成果の実用化の観点から、代表提案者、共同提案者、あるいは社会実装協力者等に民間企業の事業部門、製品・サービス化等に関連する部門等を含む体制としてください。また、B5Gにおける将来の標準化などへのシナリオを想定し、学会、研究者など外部の協力を求めていく計画がある場合には、その計画を記載してください。

●知財・標準化の体制が決まっている場合は、具体的に名称等（個人の場合は氏名及び所属等）を記載してください。

氏名：XXXXX

（２）研究開発体制及び社会実装に向けた体制

代表提案者（ＡA社）

役割：・・・・・・・・・

　代表研究責任者　○○ ○○

共同提案者（ＢB社）

役割：○○の研究開発・・、製品化、標準必須特許取得、標準化

実施責任者　○○ ○○

共同提案者（CC大学）

役割：・・・・・・・・・

実施責任者　○○ ○○

●参画者が決まっている場合は、具体的に名称等（個人の場合は氏名及び所属等）を記入してください。

　連携研究者（名称等）

　役割：・・・・・・・・・

　研究実施協力者（名称等）

　役割：・・・・・・・・・

　社会実装協力者（名称等）

　役割：[製品・サービス化]

※代表提案者、共同提案者は機構と委託契約を締結しますが、連携研究者、研究実施協力者、社会実装協力者は機構との委託契約は締結しません。詳しくは事務マニュアルをご参照ください。

１－４－２　研究開発項目別分担

研究開発項目1　□□□□□□□□

研究開発項目1-a）○○○○○○○○○ （AA 社）

研究開発項目1-b）○○○○○○○○○ （BB 社）

研究開発項目1-c） ○○○○○○○○○ （AA 社）

研究開発項目２　□□□□□□□□

研究開発項目２-a） ○○○○○○○○○ （AA 社）

研究開発項目２-b） ○○○○○○○○○ （BB 社）

研究開発項目２-c） ○○○○○○○○○ （CC 大学）

研究開発項目２-d） ○○○○○○○○○ （AA 社）

●必要に応じて項目を追加してください。

１－４－３　代表提案者（代表研究責任者が所属する法人）による研究開発課題全体の運営管理

提案書別紙１－４に記載

１－４－４　研究開発実施に当たっての研究開発運営委員会等の設置

提案書別紙１－４（２）に記載

１－５　人を対象とする生命科学・医学系研究の取扱い

括弧内に○×を入れ、該当する提案者名を記載して下さい。

（　）人を対象とする生命科学・医学系研究を実施する（提案者A、提案者B）

（　）人を対象とする研究を実施するが、人を対象とする生命科学・医学系研究は実施しない（提案者C）

（　）人を対象とする研究は実施しない（提案者D）

●人を対象とする研究を含む提案の場合には、別紙12の提出が必要です。

●人を対象とする研究の例：

人由来の試料（血液、体液、組織、排泄物及び抽出されたDNA等及び個人に関する情報を含む）を用いた研究、研究対象者に何らかの課題を行わせ、その時の行動（反応時間、身体運動、発話等）、生理指標（心拍数、筋電、発汗、呼吸数、体温等）、脳活動（ｆMRI、MEG、EEGデータ）、人体断層画像（MRI、CTデータ）等を計測・評価する研究、アンケート調査研究等

●人を対象とする生命科学・医学系研究とは「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第一号）の対象となる研究です。

上記指針より抜粋：

人を対象として、次のア又はイを目的として実施される活動をいう。

ア　次の① 、② 、③ 又は④ を通じて、国民の健康の保持増進又は患者の傷病からの回復若しくは生活の質の向上に資する知識を得ること。

① 傷病の成因（健康に関する様々な事象の頻度及び分布並びにそれらに影響を与える要因を含む。）の理解

② 病態の理解

③ 傷病の予防方法の改善又は有効性の検証

④ 医療における診断方法及び治療方法の改善又は有効性の検証

イ　人由来の試料・情報を用いて、ヒトゲノム及び遺伝子の構造又は機能並びに遺伝子の変異又は発現に関する知識を得ること。

●機構の委託研究は、情報通信技術の研究開発を主目的としており、本公募では、人を対象とする研究のうち、臨床研究法や医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく手続きが必要な研究は対象としません。詳細は応募要領をご確認ください。

１－６　動物実験の取扱い

括弧内に○×を入れ、該当する提案者名を記載して下さい。

（　）動物実験等を実施する（提案者D）

（　）動物実験等は実施しない（提案者A、提案者B、提案者C）

●提案内容に動物実験が含まれる場合には、別紙13の提出が必要です。詳細は応募要領をご確認ください。

２　最終目標（アウトプット目標）及び研究開発実施計画

２－１　最終目標（アウトプット目標）

（１）研究開発課題全体の目標

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

2-1（１）は、以下留意の上記載して下さい。

●研究計画書に基づいて具体的な目標を定量的に記載し、どのような技術を確立するのか等も具体的に記載してください。

●有限希少な電波の有効利用への寄与がどの程度期待できるのかについて、分かりやすく記載してください。

例えば、「本研究開発の成果を活用することにより、○○が実現でき、〇〇と比べて〇倍程度の周波数の効率的利用が期待できる。」、「本研究開発の成果を活用することにより、○○が実現でき、○○と比較して〇倍程度の無線システムの共同利用が期待できる。」など）

（２）最終目標の設定理由

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

２-1（２）は以下留意の上記載して下さい。

●本目標が国内外の既存技術の性能や競争相手が開発中の技術性能と比較して優れていることを数値あるいは定性的に説明すること等により上記目標を設定した理由を記載してください。

（３）各研究開発項目別の最終目標

●各研究開発項目別のアウトプット目標を記載してください。

研究開発項目1　□□□□□□□□

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

・研究開発項目1-a）〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

・研究開発項目1-b）〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

・研究開発項目1-c）〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

研究開発項目２　□□□□□□□□

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

・研究開発項目2-a）〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

・研究開発項目2-b）〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

・研究開発項目2-c）〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

・研究開発項目2-d）〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

２－２　最終目標を達成するための研究開発実施計画

提案書別紙２－２に記載

２－３　年度目標（アウトプット目標）

提案書別紙２－４に記載

２－４　研究開発実施計画マイルストーン

課題の研究開発期間に合わせて表を修正してください。

各年度の経費

初年度

最終年度

 経費[百万円]

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究項目 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 経費合計 | 担当 |
| 研究開発項目１　□□□□□□□□・〇〇〇〇〇〇〇〇・〇〇〇〇〇〇〇〇・〇〇〇〇〇〇〇〇 | 試作　3.5試験　2× | 評価　1.5仕様化　1× | 試験　1.5仕様化　1× | 連携実験　1.5仕様化　1× |  | ××× | AA社AA社BB社 |
| 研究開発項目２　□□□□□□□□・〇〇〇〇〇〇〇〇・〇〇〇〇〇〇〇〇・〇〇〇〇〇〇〇〇・〇〇〇〇〇〇〇〇 | ×××× | ×××× | ×××× | ×××× | ｘｘ | ×××× | AA社BB社CC大学AA社 |
| 総額 | ○○ | ○○ | ○○ | ○○ | ○○ | ○○ |  |

注）1 経費については、研究開発項目毎に間接経費及び消費税を含む金額を記載してください。各年度に要する経費を記載してください。

2. 研究開発項目に対して、それぞれの研究計画のフェーズが明確にわかるように、詳細に記載してください。（数年間に渡って矢印を引き「基本設計・詳細設計・評価」とするような、区切りが漠然とした記載は避けてください。）

３. 継続評価や2024年度以降の革新的情報通信技術（Beyond 5G（6G））基金事業の後年度予算の状況等により、研究開発期間や各年度の研究開発予算を変更する場合があります。

４. 各フェーズの開始時期と終了時期を明確にしてください。

３　当該技術又は関連技術の研究開発実績、保有設備・知的財産等の提案遂行・目標達成能力

３－１　研究開発の実績

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

●当該研究開発課題に対して提案者が受託するに相応しい理由を説明してください。国内外における研究開発の現状を示すとともに、その中での提案者の位置づけや研究開発状況についても記載してください。

●提案が採択となった後も自らが実施する類似研究を継続する場合には、その研究概要、目標等を示して、委託研究と明確に区別できることを説明してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

３－２　これまでの成果

●提案者が当該研究開発課題の遂行に資する関連・類似の研究開発を既に行っている場合、或いは過去に行った経験のある場合には、その受託研究等や外部発表（研究論文、学会発表、標準化提案、特許、表彰等）について、具体的に記載してください。

●参考となる資料をあわせて添付してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

３－３　提案の実施に資する保有設備・装置等、保有知的財産、提案者の所属組織からのサポート等

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

●本研究開発を進めるに当たって必要と考えられる設備・装置等、知的財産や技術シーズで提案者が保有しており活用できるもの、提案者の所属組織から受けられるサポートがあれば、具体的に記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

３－４　当該提案を遂行し、目標を達成する能力

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

●3-1から3-3も踏まえ、全ての提案者が提案内容を着実に遂行し、アウトカム目標・アウトプット目標を達成できる能力を有していることを具体的に説明してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

４　成果の展開・普及

４－１　研究の成果展開

（１）成果の展開・普及（社会実装）の計画

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

４-１（1）は、以下留意の上記載して下さい。

●市場動向、顧客ニーズ、競合他社の動向などの分析や、それを踏まえた研究開発成果を活用した製品・サービスの社会実装・海外展開に係る計画（事業計画など）を具体的に記載してください。また、社会実装・海外展開により期待される国民生活や経済社会への波及効果等について記載してください。

●社会実装・海外展開に向けては、単に１つの製品を開発するということではなく、１社では構築できない大規模なシステムの中の一部で自社の優位性を発揮するシステムを開発し、販売し、収益を上げなくてはならないなど厳しい時代に入っています。そのため、状況変化に応じて、組織体制の最適化や組織外との連携をダイナミックに行うことが求められること等から、組織トップ等の経営層まで含めた必要な情報共有、情報収集の精密化、組織内外の強力な連携（特に、代表提案者、共同提案者あるいは社会実装協力者等の民間企業の事業部門、製品・サービス化等に関連する部門等との連携）、さらに情報発信とグローバルマーケット構築の先導への主体的関与が強く求められます。成果の展開・普及（社会実装等）を進めるに当たって、このような観点にも留意し、提案者の関係部署等と連携すること等により、上記計画を具体的に記載してください。

（２）知的財産活動の計画

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

４-１（2）は、以下留意の上記載して下さい。

●特許出願件数、知的財産権の活用計画の他、Beyond 5Gの実用化や事業化を見据えてどの分野の知財を取得する計画なのかを具体的に記載してください。

（３）標準化活動の計画

①　基本的な方針

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

４-１（3）は、以下留意の上記載して下さい。

●標準化に向けてどのような対応をとる計画か、実用化や事業化を見据えた知財戦略と標準化戦略をどのように一体的に推進する計画か、何件程度の標準必須特許（mandatory/ optionalのSEP）を目指して、それぞれどこの場でどのように標準化を目指す計画か、Optionalよりもmandatory（事実上mandatoryを含む）となるような標準必須特許（SEP）を獲得するためにどう対応するのか、将来ビジョンからのバックキャストを踏まえた標準化活動に関してどのような対応が取れるのか、等を具体的に記載してください。

②　将来ビジョンを踏まえたバックキャストの標準化について

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

我が国の標準化活動で強化すべきポイントの一つとして、従来は3GPPをスタート点として標準化対応をしているため、現時点での標準規格を起点とし、その延長上で新たな標準化を捉えようとするため、長期レンジでの標準化対応が不十分であり、それがSEP獲得率の向上につながっていない点が指摘されています。

グローバルベンダーは、グローバルフォーラムなどで構築される将来ビジョンを未来の形とし、そこと現時点とを繋ぐように将来動向を捉え、さらに年次進行で、将来ビジョンの高精度化と現時点の技術の進展とを内挿しながら将来に向けた標準化戦略を逐次更新し、そのなかでSEPへの対応を実施していると考えられます。

一方で、我が国では、将来ビジョンからのバックキャストを踏まえた将来に向けた標準化戦略の構築がないことが問題と考えられます。

このような将来ビジョンからのバックキャストを踏まえた標準化活動に関して、どのような対応が取れるのか、具体的に記述してください。

（４）知財・標準化の取組の一体的推進と組織トップ等を含めた内外との強力な連携体制

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

４-１（4）は、以下留意の上、記載して下さい。

●社会実装・海外展開に向けては、単に１つの製品を開発するということではなく、１社では構築できない大規模なシステムの中の一部で自社の優位性を発揮するシステムを開発し、販売し、収益を上げなくてはならない厳しい時代に入っています。そのため状況変化に応じて、組織体制の最適化や組織外との連携をダイナミックに行うことが求められること等から、組織トップ等の経営層まで含めた必要な情報共有、情報収集の精密化、組織内外の強力な連携（特に、代表提案者、共同提案者あるいは社会実装協力者等の民間企業の事業部門、製品・サービス化等に関連する部門等との連携）、さらに情報発信とグローバルマーケット構築の先導への主体的関与が強く求められます。

知財・標準化活動を推進にするに当たって、提案者の組織において組織トップ等上層部を含めてどのような対応が取れるのかを具体的に記載してください。

（５）国際競争力強化に資する国際連携活動の計画

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

４-１（5）は、以下留意の上、記載して下さい。

●国際競争力の強化に資する外国の民間企業、大学、アライアンス、コンソーシアム等との連携体制が構築できている又は計画している場合、どのような連携をとるのか具体的に記載してください。

４－２　成果の発展性・普及性

提案書別紙７－２に記載

４－３　展開・普及計画（マイルストーン）

提案書別紙７－３に記載

５　各研究機関の研究員及び連絡先

* 研究員は、研究の本質的な部分を行う者であり、提案者組織内において研究者として位置づけられている必要があります。補助員は、研究員の指示に従い委託業務（研究開発）の補助的作業を行う者であって、研究の本質的な部分を行う者ではありません。補助員は記入しないでください。
* それぞれの研究員の本研究開発提案における役割分担を明確に記載してください。
* エフォート率については、委託研究期間における研究員の全業務時間を100%とし、そのうち本研究開発の実施等に必要となる時間の配分率（%）を記入して下さい。

５－１　研究員氏名

（１）AA社（代表提案者）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏 名 | 所属・役職（職名） | 研究実績（略歴） | 本研究開発課題における役割分担及びエフォート率 |
| 【代表研究責任者】××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |

（２）BB社（共同提案者）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏 名 | 所属・役職（職名） | 研究実績（略歴） | 本研究開発課題における役割分担及びエフォート率 |
| 【実施責任者】××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |

（３）CC大学（共同提案者）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏 名 | 所属・役職（職名） | 研究実績（略歴） | 本研究開発課題における役割分担及びエフォート率 |
| 【実施責任者】××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |

必要数、記入枠を追加してください。

(注１)非居住者を研究員とする場合には外為法に基づく手続きを行う必要があることをご留意ください。経済産業省などのウェブサイトで、安全保障貿易管理の詳細が公表されていますので詳しくはそちらをご参照ください。

(経済産業省：安全保障貿易管理（全般）<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>)

(注2)エフォート率は、各年度の年間の全仕事時間を100%とし、そのうち本研究開発に従事する時間の割合（%）を記入して下さい。

５－２　代表研究責任者、実施責任者及び連絡担当者　連絡先

“e-Rad登録機関コード”をお持ちの場合は記入してください。

（共同提案者についても同様です）

（１）AA社（代表提案者）　e-Rad研究機関コード：

URL：

機関の組織概要を掲載したWebサイトのURLを記入してください。

（共同提案者についても同様です）

【代表研究責任者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

* 評価及び審査の過程で、代表研究責任者、実施責任者、担当者に機構から質問等を行うことがあります。短期間での回答をお願いすることとなりますので、それに対応できる方を連絡担当者としてください。また、連絡の便を考慮し、可能であれば携帯電話番号を併記してください。また、各者の経理責任者も記載してください。
* 共同提案の場合は原則として代表提案者に連絡しますが、全ての共同提案者を記載してください。

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mail XXXXX@XXXXX

【連絡担当者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mail XXXXX@XXXXX

【経理責任者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

経理責任者は、委託研究の経理全般を管理する責任者としてください。

研究員が経理責任者を兼ねることは原則としてできません。

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mai XXXXX@XXXXX

（２）BB社（共同提案者）　e-Rad研究機関コード：

URL：

【実施責任者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mai XXXXX@XXXXX

【連絡担当者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mail XXXXX@XXXXX

【経理責任者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mai XXXXX@XXXXX

（３）CC大学（共同提案者）　e-Rad研究機関コード：

URL：

【実施責任者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mai XXXXX@XXXXX

【連絡担当者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mail XXXXX@XXXXX

【経理責任者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mai XXXXX@XXXXX